

お便り

POST

◆私の「カルチャー・いんふお」◆

東京の東村山市に国立療養所があります。1909年に開所され、今もハンセン病の元患者たちが暮らしています。JR新秋津駅からバスに乗ると数分で道の左側にうっそうとした森が続きます。広大な敷地の一面には国立ハンセン病資料館があり、全国に12か所ある療養所に関するビデオが上映され、写真などの資料が展示されています。元患者による語り部の会も設けられ、長く「入所」という名で隔離を余儀なくされた人々への理解を進める活動が続いています。入所者の平均年齢は80歳を超え、中には10代の子どもの時代に入所して、長い人生で子どもを持っていないなどの苦悩を重ねてきた人もいます。敷地内にある花さき保育園を探して森の外縁を歩きながら、道を一本隔てただけの療養所と一般の住宅地との距離を感じました。

『あん』（河瀬直美監督 2015年）はこの全生園を背景にした映画です。先に亡くなった女優樹木希林演じる元患者徳江が、永瀬正敏演じる千太郎が切り盛りするどら焼き屋どら春で“あん”を練る仕事をさせてほしいと頼むことから物語が始まります。家庭に居場所のない中学生が店で悩みを打ち明けたり、千太郎が過去に起こした事件での多額の借金、周囲の心ない差別偏見がドキュメンタリーのように物語をつくります。仕事から身を引いた元の生活に戻った徳江を療養所に訪ねた千太郎は「あなたを守れなかった」と涙します。徳江は温かいいざないで彼と中学生をもてなし、自分の作ったあんでお客を喜ばせることができたと言います。満開の桜並木の根元にある小さなどら春が食べる人見る人の心を温め、社会の知られない部分に光を当てる優しい作品です。(AK)

◆研究論文を募集します◆
ピアレビュー（査読）の上、掲載します。

本誌の巻末、横書き部分の「探究」ページに掲載する論文を募集します。

【テーマ】子ども、保育、幼児教育に関するもの

【文字数等】400字詰め原稿用紙35枚程度。

（写真・図表、文献、注を含む）本文はワード原稿で作成してください。編集上適宜対応しますが、投稿予定の方は下記のアドレスまでメールでご相談ください。

【締め切り】随時募集します。

【送付先】本誌編集委員会

Mail:youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp

◆年間購読継続手続きのお願い◆

いつもご愛読くださり、ありがとうございます。

次号春号からの年間購読を引き続きご希望の方は、更新手続きが必要となります。フレール館のホームページに入り、オンラインショップ「ツバメノウチ」のパナーをクリック。その後、「定期購読」⇒「幼児の教育」の表紙絵をクリックします。

定期購読のサイクルは冬号で一区切りになります。ご不明の点などございましたら、youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp までお問い合わせください。

おかげさまで今年も無事に4号をお届けすることができました。今後ともどうぞお引き立てくださいますようお願い申し上げます。

（編集委員会）